



永遠の妖精
銀幕に輝くオードリー

『麗しのサブリナ(1954)』より©Bud Fraker/mptvimages.com

AUDREY *in Cinema*

オードリー・ヘプバーン写真展

2025

2026

11 / 29 (土) 3 / 8 (日)

※祝日を除く月曜及び年末年始休館

10:00-17:00 (最終入場・物販は 16:30 まで)

あーすぷらざ 3階 企画展示室



大人 400 円 / 小・中学生 100 円
高校・大学生・65 歳以上・
上記以外で 20 歳未満の方 200 円
未就学児 無料
※常設展示室観覧券と共通

神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーすぷらざ

主催 | 神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ) 指定管理者: 公益社団法人青年海外協力協会
企画協力 | クレヴィス



『ティファニーで朝食を(1961)』よりmptvimages.com



『マイ・フェア・レディ(1964)』より
©BobWilloughby/mptvimages.com



『パリの恋人(1957)』より
©Bud Fraker/mptvimages.com



『ローマの休日(1953)』よりmptvimages.com

AUDREY in Cinema

「ローマの休日」(1953年)の王女役で鮮烈なデビューを果たしたオードリー・ヘプバーン。それから70年の歳月を経て、今なお、コマーシャルにも登場する永遠の映画スターです。

1929年にベルギーの首都ブリュッセルで生まれたオードリー。母エラはオランダの貴族の出身、父ジョゼフはアイルランド系イギリス人。彼女の青春時代は第二次世界大戦の真っ只中、バレリーナになる夢がついて、ミュージカルのオーディションを受けることから思いがけず女優への道を歩み始めます。

22歳のとき、「ローマの休日」アン王女に抜擢され、オードリーは映画史上に忘れられない印象を残しました。「ローマの休日」に続く「麗しのサブリナ」(1954年)では、ショートカットにパンツスタイル、フラットシューズと、それまでの女性美の基準を変える圧倒的な存在感を放ちました。「気品」と「お転婆」を兼ね備えた魅力が世界中で絶賛され、オードリーはスターダムに昇りつめることになりました。

「ティファニーで朝食を」「シャレード」など、ジヴァンシーがデザインしたドレスや帽子を身にまとい、洒落た会話で映画の中を生きる彼女はファッション・アイコンとして、映画史に燦然と輝きつづけています。

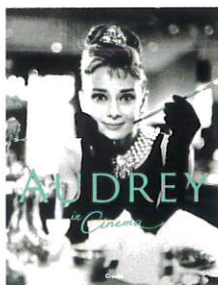
本展覧会ではオードリー・ヘプバーンの出演した20の映画作品を中心に、今も輝きつづける彼女の清廉な美しさ、魅力をご紹介します。

ORIGINAL GOODS オリジナルグッズ販売

※数に限りがございます。

会場では写真集や写真展でしか買えないグッズを販売します。

写真集『AUDREY in Cinema』は「ローマの休日」から最後の出演作「オールウェイズ」まで、オードリー・ヘプバーンの出演した20の映画作品を中心に、制作の舞台裏のスナップなどを含め、183点で彼女の魅力、美しさの秘密に迫る一冊です。



写真集『AUDREY in Cinema』

ご注意

最新のお知らせは公式ホームページでご確認ください

内容変更や中止の場合はホームページにてお知らせします。
また、混雑具合などにより入場制限を設ける場合がございます。



神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーるぷらざ

〒247-0007

神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1

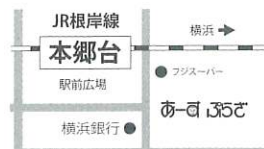
tel:045-896-2121

E-mail:gakushu@earthplaza.jp

施設情報・
イベント案内はこちら



JR 本郷台駅 徒歩 3分



公式 SNS で情報発信 ▶▶▶ @earthplaza_kikakuten